

事務事業計画書兼評価表(A表)

1 事務事業に関する基本情報				平成	30	年度
事業番号	324	事業名	関西事務所活動事業費			
担当課	産業観光課商工観光室	担当係	八頭町関西事務所			
総合計画に最も関連ある施策	施策	5	活力ある産業づくり	連絡先	0858-72-0144	
	施策体系	4	連携・交流の推進	事業区分	□新規 ■継続	
	主な事業	関西八頭町会事務局、企業誘致、交流人口増加				
予算区分	款	6	商工費	事業実施主体	■八頭町 □その他	
	項	1	商工費			
	目	1	商工業振興費	計画期間	開始	—
	事業	324	関西事務所活動事業費		終了	—

2 事務事業の概要

事業の対象	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載 関西圏の企業、官公庁、地方自治体、住民					
事業の目的	誰(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載 関西圏における人的交流と特産品及び観光などの情報発信を通じて、観光客の誘客や雇用と定住の促進などを図る。					
事業の内容	事業の規模や業務量などを具体的に記載 ①観光情報発信、②関西八頭町会事務局運営、③農産物等販路拡大事業、④企業誘致推進、⑤就職定住相談事業、⑥人的交流推進事業					
事業の手段	どういう方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載 八頭町とゆかりのある各種団体との交流会や会合への参加、関西八頭町会関連事務、「ふるさとやずの集い」の開催運営、八頭町物産展の開催、移住定住相談会への参加・出席、ホームページ等を活用した情報発信、県と連携した企業・団体への販路開拓					
事業の成果到達点	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載 関西圏からの八頭町訪問者の増加、企業誘致の実現、新規移住定住者の確保、ふるさとやずの集い等八頭町イベントの開催					
根拠法令等	4	1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし			法令等名→	八頭町関西事務所設置規則

3 活動指標、成果指標

活動指標		単位	事業の手段を図るものさし			
	A	社	訪問企業			
	B	回	観光情報発信数			
	C	回	関西圏における八頭町関係のイベント回数			
	D					
成果指標		単位	事業の成果、到達点を図るものさし			
	A	社	進出企業数			
	B	人	関西八頭町会会員数			
	C	人	関西圏から八頭町への誘客数			
	D					

4 コスト

区分		単位	H27年度	H28年度	H29年度		H30年度		R1年度
			実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	A	社	72	96	100	96	105	158	110
	B	回	86	48	50	57	55	33	60
	C	回	13	12	15	15	15	12	15
	D								
成果指標	A	社	1	0	1	0	1	1	1
	B	人	200	195	200	190	205	209	210
	C	人	154	142	150	138	150	145	150
	D								
トータルコスト		千円	10,650	12,330	12,563	11,419	12,588	11,231	12,588
担当職員数		人	1.2	1.2	1.2	1.20	1.2	1.20	1.2
職員人件費		千円	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
事業費		千円	1,050	2,730	2,963	1,819	2,988	1,631	2,988
事業費財源内訳	国庫支出金(交付金・補助金)		千円						
	県支出金(交付金・補助金)		千円						
	地方債(借入金)		千円						
	事業収入(使用料・参加費等)		千円						
	一般財源(単町費)		千円	1,050	2,730	2,963	1,819	2,988	1,631

事務事業計画書兼評価表(B表)

5 実施活動内容・成果(到達点)

平成 30 年度

実施活動内容・成果(到達点)	実施活動内容(具体的に) ○郡家駅中寄席、花御所寄席、ふるさとやずの集いの実施。八頭町日帰りバスツアー企画への参入と実現。 ○すみよし区民まつり、深江歴史・文化祭り、東成区(3)郵便局、けやき坂マルシェ、長田区まちの文化祭で農産物等の販売。 ○大阪の飲食店を二日間で約20店舗訪問し、「ふるさと納税パンフレット」の配下と「神兔米」のサンプルを渡し、取引依頼を行った。
	成果(具体的に) 「花御所寄席」では、嘶家に八頭町にゆかりのある「ネタ」を取り入れてもらい、関西圏に町と特産品のPRを行うことができた。「駅なか寄席」では、桂三風観光大使のお披露目の場として町民へ知っていただくとともに、笑いを届けることができた。「ふるさとやずの集い」では、数年ぶりに石破茂衆議院議員の参加が得られ、会に華を添えて頂くことができた。大阪の「麒麟のまち」で、花御所柿を使用した食材のメニュー提供を1週間に渡って実施して頂き、町と特産品のPRを行うことができた。麒麟のまちで毎週八頭町産の野菜を販売して頂けるルートを確保した。神兔米を使用する飲食店が3店舗できた。

6 事務事業の評価

評価項目	評価点	点数	チェックポイント	判断理由・評価コメント(具体的に記入のこと)
必要性 (町民ニーズ)	13	20	①必要性が高い	関西圏における八頭町の観光PRや特産品の流通等により、知名度アップと販路開拓に繋がり、観光客の誘致、生産意欲の拡大が見込まれる。
		13	②どちらかと言えば必要性がある	
		7	③必要性が低い	
		0	④必要性がない	
妥当性 (町が行わなければならないか)	13	20	①町が行わないといけない	八頭町の観光戦略の一つとして、関西圏での活動は不可欠と言える。
		13	②どちらかと言えば町が実施	
		7	③妥当性が低い	
		0	④妥当性がない	
効率性 (コスト削減の余地は無いか)	13	20	①効率的である	交流人口や販路拡大を目指すためには、一定の経費と労力が必要である。
		13	②どちらかと言えば効率的である	
		7	③どちらかと言えば非効率的である	
		0	④非効率的である	
緊急性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	13	20	①緊急性が高い	関西事務所設置後10年が経過し、少しずつ企業との繋がりがりや農産物等の流通も増えており、今後も発展の要素はあるものと判断する。
		13	②比較的緊急性がある	
		7	③緊急性が低い	
		0	④緊急性がない	
成果 (目的の達成状況)	13	20	①成果が上がっている	関西圏で企業や自治体等を訪問することにより、交流人口も増え、本町への誘客や農産物等の流通にも繋がっている。移住相談にも対応し、近年、移住者も増えている状況にある。
		13	②どちらかと言えば上がっている	
		7	③どちらかと言えば上がっていない	
		0	④成果が上がっていない	

一次評価	事業の方向性	点数	評価点合計	判定に至った理由
2	1、拡充する	80点以上	65	販路開拓や町のPR、事業所等のつながりも一定の成果が出来つつあるが、関西地域の実情を掘り起こすまでには至っていないと思われる。本町出身で関西圏在住の方の協力をこれまで以上に得ながら、地元ならではの戦略を進めていただくことで、新たな八頭町の魅力発信と交流人口増に繋がると期待する。
	2、現状維持	60～79点		
	3、改善・効率化し継続	50～59点		
	4、見直しの上縮小する	40～49点	2	
	5、終期設定し終了	30～39点		
	6、休止	20～29点		
	7、廃止	19点以下		

二次評価	事業の方向性	判定説明・意見
3	1、拡充する	本事業では、大阪に設置した事務所(八頭町関西事務所)を拠点として、町の観光情報発信や農産物等の販路拡大、企業誘致、人的交流や移住相談等の活動を実施している。農業中心の産業を有し、人口が少ない本町の施策として、我が国や世界のビッグマーケット・人口集中地域として位置付けられている関西圏において、商業面や交流面での活動を展開することには一定の意義があり、平成21年度から事務所を設置し活動を行ってきたところである。平成30年度で関西事務所設置後10年が経過し、関西八頭町会の設立やその後の活動、また、八頭町産農産物等の流通や八頭町への訪問等が増えたことは、一定の成果として認められる。令和元年度には、常駐の町職員1名配置から、八頭町出身・関西在住の商工観光コーディネーター1名の配置へと変更し、活動の推進体制を見直したところであるが、今後は、関西圏の状況を熟知しているという強みを生かしながら、これまでない手法や切り口等による活動を推進し、八頭町のさらなる活性化につながっていくことを期待したい。
	2、現状維持	
	3、改善・効率化し継続	
	4、見直しの上縮小する	
	5、終期設定し終了	
	6、休止	
	7、廃止	

7 課題及び今後の方向性

課題	事業活動に当たり、一番の問題と捉えていること。重点的に手当てする事柄、改善点、工夫したい箇所 関西圏の現状を詳しく把握できていない状態での各種活動にも限界があり、商業激戦区での事業展開も難しい面がある。関西八頭町会の方々の知恵と協力をいただきながら、今後の八頭町の発展につなげていけることが望ましい。
今後の方向性	上記課題を解決していくため、次年度どんな活動を展開していくのか 関西地域の実状を十分に把握されている本町出身の関西圏在住の方の協力を得ながら、これまで取り組むことのできなかった活動を展開し、八頭町での取組と関西圏での取組の双方の特徴を生かした戦略で更なる八頭町の発展につなげていきたい。